

## 県央地区流域治水協議会

### 令和5年7月豪雨災害を踏まえた河北郡市流域治水対策検討部会

#### 目的

令和5年7月の線状降水帯発生により河北郡市を中心として記録的な大雨となり、4河川7観測所で観測史上最高の水位を記録した。

この洪水により、津幡川や能瀬川などの県管理河川が越水し、甚大な被害が発生した。特に河北郡市において大きな被災の発生した今次災害を踏まえ、再度災害防止のための早期の復旧・復興、さらに今後も起こりうるこのような洪水に対して被害を軽減し、流域全体の安全・安心な暮らしの確保に向けた取り組みを緊急的に実施する必要がある。

そのため、河川の整備などの「氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策」と併せて「被害対象を減少させるための対策」「被害の軽減、早期復旧・復興のための対策」を流域内の関係者が連携して一体的かつ緊急的に進めるため、県央地区流域治水協議会の河北郡市に係る関係機関で構成する「令和5年7月豪雨災害を踏まえた河北郡市流域治水対策検討部会(以下、「検討部会」)」を設置し、今次災害を踏まえ、対策を取りまとめるものである。